

令和4年度国民健康保険事業 特別会計決算について

令和4年度国民健康保険事業特別会計決算の概況

歳入合計 180億49百万円

内訳

歳出合計 180億28百万円

内訳



収支差引 21百万円 (→次年度(R5)へ繰越し)

国民健康保険料 32億3百万円
17.7%

繰入金 14億94百万円
8.3%
(うち基金繰入 9百万円 0.05%)

府支出金 132億78百万円
73.6%

その他収入 74百万円 0.4%

納付金 45億26百万円
25.1%

保健事業費 1億99百万円 1.1%

保険給付費 130億17百万円
72.2%

その他支出 2億86百万円 1.6%

【歳入(主要なもの)】 歳入合計 180億49百万円 (対前年度2億11百万円減少)

○ 国民健康保険料 R4 32億3百万円 (R3 32億11百万円)

国民健康保険事業の費用に充てるため、国保加入世帯の世帯主が市町村に納付する保険料

○ 繰入金 R4 14億94百万円 (R3 13億67百万円)

一般会計から国民健康保険特別会計に繰り入れを行っている一般会計繰入金と基金の取崩しである基金繰入金により構成

※令和4年度より新たに1億円を繰り入れ(保健事業に積極的に取り組むことへの支援)

○ 府支出金 R4 132億78百万円 (R3 136億36百万円)

京都府が市町村に対して、国民健康保険事業に要する費用の一部を負担する負担金及び交付金

※保険給付に必要な費用を賄う普通交付金と、市町村の状況等に応じて調整を行う特別交付金がある

○ 繰越金 R4 40百万円 (R3 0円)

前年度決算の収支黒字分を当該年度に繰り越したもの

【歳出(主要なもの)】 歳出合計 180億28百万円 (対前年度1億92百万円減少)

○ 納付金 R4 45億26百万円 (R3 42億18百万円)

制度改革により、京都府が市町村への交付金等に充てるため、市町村の医療費水準や所得水準等に応じて徴収する納付金

○ 保健事業費 R4 1億99百万円 (R3 1億96百万円)

被保険者の健康の増進等のために行う保健事業(特定健康診査・人間ドックなど)に要する費用

○ 保険給付費 R4 130億17百万円 (R3 135億50百万円)

被保険者が保険医療機関で診療を受けた際などに支払う一部自己負担金(3割等)を除いた費用を、保険者が給付(保険医療機関に支払う)するものなど

※高額療養費のほか、出産育児一時金や葬祭費なども含まれる

○ 基金積立金 R4 40百万円 (R3 0.02百万円)

基金への積み立てに要する費用

令和4年度国民健康保険事業特別会計決算の内訳

(単位:千円)

項 目	歳 入					
	R3	R4				R5
	決算	当初予算 A	運協での 決算見込 B	決算 C	差引 C - B	当初予算
1. 国民健康保険料	3,210,839	3,346,423	3,227,933	3,203,080	△ 24,853	3,139,616
現年分	3,052,308	3,201,732	3,115,498	3,087,248	△ 28,250	3,038,051
滞納繰越分	158,531	144,691	112,435	115,832	3,397	101,565
2. 一部負担金	0	2	0	0	0	2
3. 使用料・手数料	1,478	1,548	1,368	1,315	△ 53	1,389
4. 国庫支出金	0	0	0	0	0	600
5. 府支出金	13,635,564	13,274,754	13,616,199	13,278,202	△ 337,997	12,552,547
普通交付金	13,378,986	13,052,348	13,354,544	12,989,517	△ 365,027	12,316,429
特別交付金	256,578	222,406	261,655	288,685	27,030	236,118
6. 財産収入	19	53	53	53	0	149
7. 繰入金	1,367,188	1,561,334	1,569,790	1,493,715	△ 76,075	1,628,532
基盤安定繰入金	1,092,034	1,092,477	1,149,201	1,149,053	△ 148	1,054,538
一般会計繰入金	266,260	367,799	358,331	335,431	△ 22,900	387,312
基金繰入金	8,894	101,058	62,258	9,231	△ 53,027	186,682
うち財源対策分(※)	0	90,805	53,003	0	△ 53,003	0
8. 繰越金	0	0	40,308	40,308	0	0
9. その他の収入	44,971	45,886	39,603	32,316	△ 7,287	43,165
歳 入 合 計	18,260,059	18,230,000	18,495,254	18,048,989	△ 446,265	17,366,000

※財源対策…収支の均衡などを目的として歳入の追加を行うもの

(参考) 標準保険料率と宇治市保険料率

宇治市の保険料率は、京都府が示す標準保険料率とすることを基本としている。

令和4年度 保険料率

(単位:%, 円)

	医療分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割
宇治市	7.75	27,900	18,000	2.78	9,600	6,200	2.97	12,200	6,000
標準保険料率	7.75	27,949	18,087	2.78	9,637	6,237	2.97	12,222	6,077

(単位:千円)

歳 出						
項 目	R3	R4				R5
	決算	当初予算 A	運協での 決算見込 B	決算 C	差引 C - B	当初予算
1. 総務費	242,951	244,071	244,896	234,476	△ 10,420	255,339
2. 保険給付費	13,549,716	13,170,222	13,467,813	13,016,727	△ 451,086	12,454,121
普通交付金対象分	13,431,579	13,052,348	13,354,544	12,906,239	△ 448,305	12,316,429
その他	118,137	117,874	113,269	110,488	△ 2,781	137,692
3. 国保事業費納付金	4,218,131	4,526,143	4,526,142	4,526,141	△ 1	4,374,644
4. 保健事業費	195,707	230,152	203,851	199,201	△ 4,650	245,279
5. 基金積立金	19	53	40,361	40,361	0	149
6. 公債費	0	3,500	0	0	0	3,500
7. 諸支出金	13,227	37,859	12,191	10,860	△ 1,331	15,968
8. 予備費	0	18,000	0	0	0	17,000
歳 出 合 計	18,219,751	18,230,000	18,495,254	18,027,766	△ 467,488	17,366,000

(単位:千円)

項 目	R3	R4				R5
	決算	当初予算 A	運協での 決算見込 B	決算 C	差引 C - B	当初予算
歳入総額	18,260,059	18,230,000	18,495,254	18,048,989	△ 446,265	17,366,000
歳出総額	18,219,751	18,230,000	18,495,254	18,027,766	△ 467,488	17,366,000
収支差引	40,308	0	0	21,223	21,223	0

<令和4年度決算の概要(決算見込との比較)>

収支差引 21,223千円

- ・ 保険給付費は受診控えの反動により、当初予算よりも約3億円増加すると見込んだが、決算では見込から約4.5億円の減少となった。保険給付費と同様に、歳入における府支出金も約3.4億円の増加を見込んだが、決算では約3.4億円の減少となった。
- ・ 保険料収入については、新型コロナウイルスの影響等を考慮し慎重に見込んだが、決算見込より約2,500万円の減少となった。
- ・ 上記のことから、当初予算で約1億円と見込んでいた基金繰入を行わなくても、収支差引は約2,100万円の黒字となった。

<収支差引 21,223千円について>

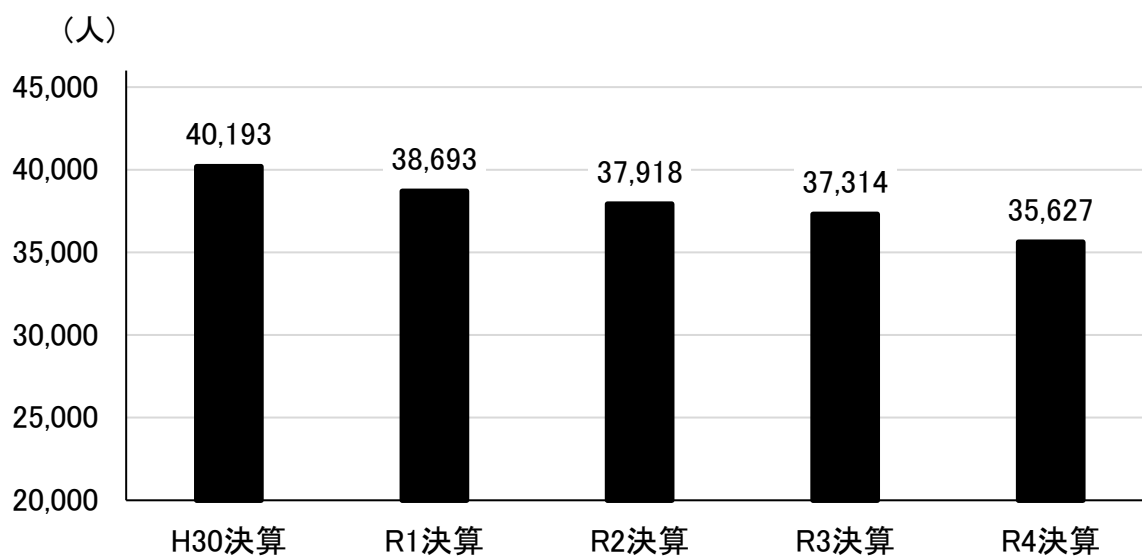
- ・ 令和5年度へ繰越し、国庫返還を除き基金へ積立

令和4年度国民健康保険事業特別会計決算 参考資料

○ 被保険者数の推移

被保険者数は、社保加入や後期高齢者医療制度への移行等に伴い減少傾向であるが、R4年度においても引き続き減少傾向が続いている。

<年度平均の推移>



	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算
被保険者数	40,193人	38,693人	37,918人	37,314人	35,627人
前年度増減	△1,908	△1,500	△775	△604	△1,687

<月別の推移>

	R4年度	R3年度	差引
4月	36,920人	38,059人	△ 1,139
5月	36,681人	37,956人	△ 1,275
6月	36,386人	37,741人	△ 1,355
7月	36,256人	37,670人	△ 1,414
8月	36,051人	37,501人	△ 1,450
9月	35,862人	37,443人	△ 1,581
10月	35,501人	37,340人	△ 1,839
11月	35,246人	37,163人	△ 1,917
12月	35,032人	37,041人	△ 2,009
1月	34,768人	36,830人	△ 2,062
2月	34,553人	36,636人	△ 2,083
3月	34,269人	36,383人	△ 2,114

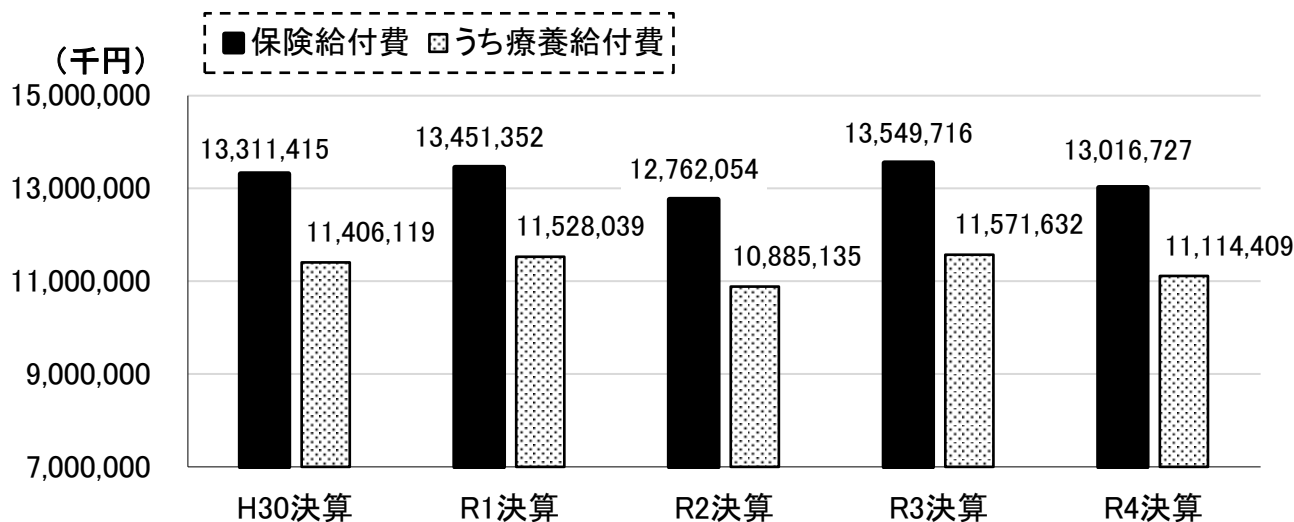
※各月末日時点

○ 保険給付費の状況

令和3年度は前年の新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等の反動により、大幅に増加となったが、令和4年度の保険給付費は再び減少に転じている。

原因として、社会保険の適用拡大等による被保険者数の減少が影響したと考えられるが、その一方で一人あたり医療費は継続して増加しているため、今後は減少傾向にある被保険者数の推移も含めて、保険給付費及び1人あたり医療費の推移を見守っていく必要がある。

<全体の推移>



(単位: 千円)

	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算
保険給付費	13,311,415	13,451,352	12,762,054	13,549,716	13,016,727
うち療養給付費	11,406,119	11,528,039	10,885,135	11,571,632	11,114,409

<療養給付費の月別推移>

(単位: 千円)

	R4年度	R3年度	差引
3月診療分	987,433	1,014,199	△ 26,766
4月診療分	971,253	987,905	△ 16,652
5月診療分	972,808	931,014	41,794
6月診療分	979,009	988,598	△ 9,589
7月診療分	881,651	966,504	△ 84,853
8月診療分	910,345	963,709	△ 53,364
9月診療分	906,544	948,010	△ 41,466
10月診療分	990,016	1,008,396	△ 18,380
11月診療分	914,059	1,000,914	△ 86,855
12月診療分	915,571	988,992	△ 73,421
1月診療分	845,711	887,453	△ 41,742
2月診療分	842,774	889,161	△ 46,387
戻入等	△ 2,765	△ 3,223	458
計	11,114,409	11,571,632	△ 457,223

<国の概算医療費(※)の状況>

※厚生労働省が公表しているこの数値は速報値であり、労災・全額自費等の費用を含まないことから概算医療費と呼称
これは、医療機関などを受診し傷病の治療に要した費用全体の推計値である国民医療費の約98%に相当

(単位:兆円)

年度	合計	伸び率	診療費計				調剤	訪問看護 療養
				医科		歯科		
				入院	入院外			
H29	42.2	2.3%	34.3	17.0	14.4	2.9	7.7	0.22
H30	42.6	0.8%	34.8	17.3	14.6	3.0	7.5	0.26
R1	43.6	2.4%	35.5	17.6	14.9	3.0	7.7	0.30
R2	42.2	△3.2%	34.3	17.1	14.2	3.0	7.5	0.36
R3	44.2	4.6%	36.0	17.6	15.3	3.1	7.8	0.43
R4	46.0	4.0%	37.6	18.1	16.2	3.2	7.9	0.51

令和4年度の国の概算医療費は46兆円となり、前年度に比べて約1.8兆円の増加、伸び率では4.0%となっている。

・医科(入院・入院外)の診療費は、前年度に比べ約1.4兆円の増加となっている。

<宇治市の被保険者1人あたり医療費の状況>

(単位:円)

年度	合計	伸び率	診療費計	医科			調剤	その他
				入院		歯科		
				入院	入院外			
H29	386,286	2.4%	308,355	144,105	137,543	26,707	61,691	16,240
H30	390,081	1.0%	312,447	147,171	137,911	27,365	61,178	16,456
R1	407,469	4.5%	324,950	154,999	141,896	28,055	65,587	16,932
R2	391,993	△ 3.8%	308,232	147,243	134,529	26,460	66,629	17,132
R3	422,492	7.8%	335,269	160,472	145,776	29,021	68,864	18,359
R4	424,323	0.4%	335,556	157,711	147,349	30,495	69,610	19,157

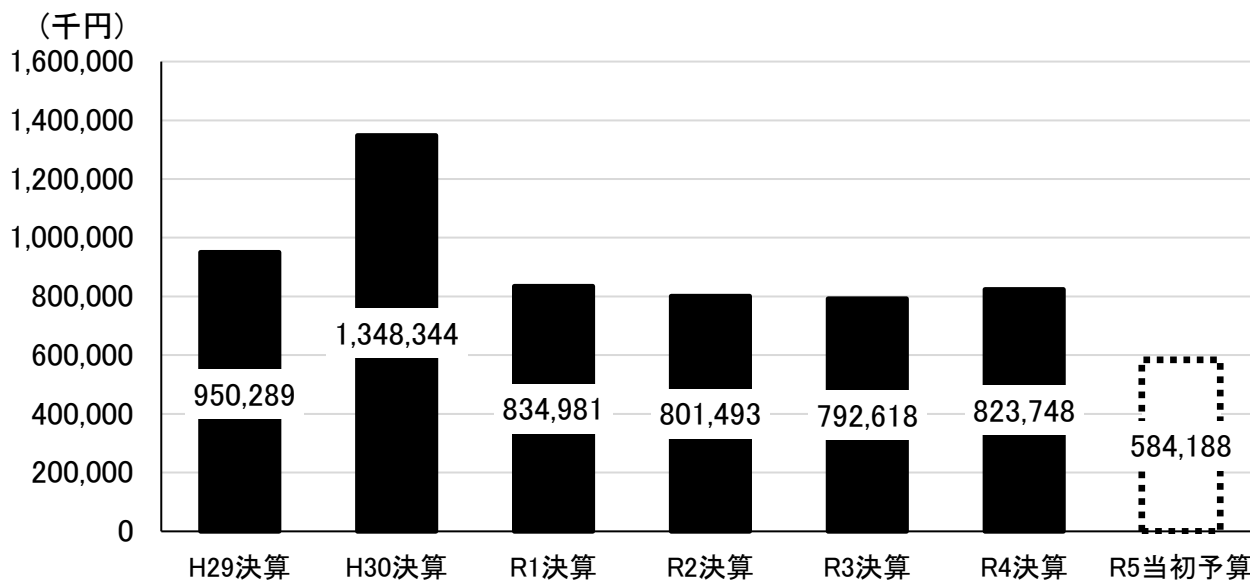
※「その他」は、食事療養、訪問看護、療養費等の合計

令和4年度の宇治市の1人あたり医療費は424,323円となり、前年度に比べて約2,000円の増加、伸び率では0.4%となっている。

・医科(入院・入院外)の診療費は、前年度に比べ約0.1万円の減少となっている。

⇒国・宇治市ともに、医科(入院・入院外)の診療費、調剤等の増加傾向が医療費増加の主な要因となっている。

○ 財政調整基金の残高状況
 ＜年度末残高の推移＞



(単位:千円)

年度	年度末 残高	繰入(取崩し)			積立		
		保健事業等	財源対策		運用収入	繰越金等	
H29決算	950,289	273,001	5,001	268,000	416,035	477	415,558
H30決算	1,348,344	226,353	5,561	220,792	624,408	565	623,843
R1決算	834,981	514,063	9,031	505,032	700	700	0
R2決算	801,493	33,523	9,391	24,132	35	35	0
R3決算	792,618	8,894	8,894	0	19	19	0
R4決算	823,748	9,231	9,231	0	40,361	53	40,308
R5当初予算	584,188	186,682	10,620	176,062	149	149	0

＜今後の基金のあり方＞

平成30年度からの国民健康保険制度改革においては、京都府に財政安定化基金が設置されているものの、市町村においても、引き続き財政調整基金を保有し、国保財政基盤の安定化のために活用することとされている。

◎令和2年度運営協議会で確認した内容

- ・基金額の目安 : 当該年度保険料の1期分相当
- ・基金の活用 : ①収支不足の財源対策、②保健事業の振興に資する費用
 ～宇治市国民健康保険事業財政調整基金条例 第1条～

〔 宇治市国民健康保険事業の健全財政の維持及び保健事業の振興に資するため、
 宇治市国民健康保険事業財政調整基金を設置する。 〕